

令和4年6月1日（水）

「楽習（楽しく学ぶ）？我苦習（苦しんで学ぶ）？」

1年生にとって、中学校で初めての定期テスト（一学期期末テスト：6月22日～24日）が20日後に迫ってきました。1，2年生では3年生が修学旅行に行っている間に期末テストが行われ、3年生は、修学旅行後の6月29日～30日の二日間で実施される予定です。

今回は、テストに向けた取組はもちろん、日頃の学習への取組を考えてほしくて、タイトルを「楽習（楽しく学ぶ）？我苦習（苦しんで学ぶ）？」としました。

次の文章は、私が勤務した中学校で、テスト範囲が配られた後の1年生の会話です。

- A「思ったより、範囲が狭いんだね・・・」
- B「そう？自分は、すごく多く感じるけど・・・」
- C「どれくらい勉強したらいいのかな？」
- D「前日にちょっと教科書見ておけばいいんじゃない？」

皆さんは4人の会話についてどう感じましたか？

皆さんの多くは、日頃の授業では、一所懸命頑張っています。ただ、記憶という点でいうと、どうしても自宅等での復習は欠かせません。

また、自分が好きなことや興味のあることは、進んで学習するものです。（ただし、自分ではあまり苦労しているとは思わない。）しかし、逆に、やらされていると強制されるものに対しては、拒絶反応を起こす傾向が強くありませんか。（親：勉強しなさい。→子：今しようと思っていたのに・・・よくあるパターンですね。）

私は、生徒たちに「楽習，我苦習，どちらが，将来の自分を助けてくれるだろうか？」とよく話していました。生徒たちの意識は，A～Dと様々です。ただ，大事なことは，今の結果に一喜一憂するだけでなく，教科の学習に興味を持ち，継続して努力していくことの重要性を学ぶことだと考えます。

皆さんには様々な学び（授業，行事等）を通して，「楽習」して行ってほしいです。